

「もんじゅ」サイトの新試験研究炉計画の検討状況について

令和 5 年 6 月 2 日
文部科学省研究開発局

1. 経緯

文部科学省は、本作業部会における審議を踏まえ、「もんじゅ」サイトに設置する試験研究炉の炉型および今後の検討の進め方について」（令和2年9月2日文部科学省研究開発局）を取りまとめた。文部科学省はこの方針に基づき、委託事業として「もんじゅサイトに設置する新たな試験研究の概念設計及び運営の在り方検討」の公募を行い、日本原子力研究開発機構（JAEA）、京都大学、福井大学を中核的機関として選定し、令和2年度から令和4年度にかけて新試験研究炉の設置に向けた取組を進めてきた。

令和5年3月の同事業のコンソーシアム委員会において、概念設計段階における取組の成果を確認し、本計画は現在、詳細設計段階に移行している。なお、文部科学省は、JAEA を詳細設計段階以降の本計画の実施主体として選定している。また、令和5年5月には、新試験研究炉の計画を着実に進めるため、JAEA、京都大学、福井大学の連携を目的とした協力協定が締結されている。

2. 今後の進め方

- 詳細設計段階以降も、実施主体となる JAEA は、引き続き京都大学、福井大学の協力を得つつ、学术界、産業界、地元関係機関等から幅広い意見を集約しつつ設計を進め、西日本における原子力分野の研究開発・人材育成の中核的拠点としての機能の実現及び地域振興への貢献の観点から最適となるよう取組を推進していくことが重要である。
- また、概念設計の一環として JAEA は「もんじゅ」サイト内の建設候補地の地質調査等を進め、詳細な検討を実施した結果、もんじゅ近傍の既設駐車場周辺等を建設候補地として追加しており、本検討結果を踏まえ、必要な地質調査等を進めていくこととする。